

# プロジェクト報告 Project Reports

## ケニア共和国 『農場オーナーシップ向上と 農業技術移転フォローアップ』

サポート:国際協力機構(JICA)  
2010年7月~2011年3月

事業地イシンニャは、首都ナイロビから南に100km  
いった場所に位置する。遊牧生活と畜産業で生計を  
立てるマサイ族が住む地域である。しかし、近年の気  
候変動で雨が全く降らず深刻な干ばつに見舞われて  
いる上、政府の保護区拡大による区画整備のため、  
放牧区域が急激に狭くなっている現状がある。



西原専門家の農業指導の様子

る。現在は、現地の土壌に合うマメ類、トウモロコシ  
を栽培している。

日本から乾燥地農業を専門としている西原専門  
家が現地に向かい、マサイ族に対する乾燥地農業や  
バイオ炭の研修を実施した。

3カ村では、前事業より継続している貯水池のビ  
ニールシート交換やインテイク、アウトテイクの修繕  
を住民と共にに行った。イシンニャ町では、ファラジャ  
ラティア農園があり、ICAは持続した農業を目指す  
目的でファラジャ農園との提携も行っている。

当事業のフォローアップ事業は2011年9月で終  
了するが、ICAはイシンニャ県における農村開発事  
業を継続して実施する予定である。



貯水池のビニールシート修繕活動

JICAのサポートを受け、ICAはケニア南部におけ  
る実験農場を設置した。地域に住む民族はマサイ  
族であり、今まで放牧のみで生活してきた。しかし、  
気候変動の影響と保護区整備によりマサイ族は定  
住生活をしなければならない状況となり、農業を通  
じた生活改善を目的とした実験農場と農業普及活  
動を行った。

2010年までにケニア南部イシンニャ県12カ村  
で実験農場を設置した、しかし、オーナーシップな  
どの課題があり、2010年4月からフォローアップ事  
業としてオーナーシップ向上と農場で雨水を溜め  
るための貯水池の修繕を実施している。

2011年10月~12月は、継続した修繕活動、耕  
作活動を実施し、12カ村中10カ村が積極的に耕  
作作業を実施した。女性が中心となり、農業研修に  
参加し、農業省のモニタリングも協働で実施してい



西原専門家の研修をうけるマサイ族の女性



現地生産農作物を使用した料理の展示



住民に対する農業研修の様子



修繕した貯水池に溜まった雨水(農業用)



修繕したインテイク(入水口)



農業推進ワークショップの様子



農業推進ワークショップの様子



ファラジャ農園との提携研修